


発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市橋本1丁目2-25
教育会館 017(734)7287
編集発行人 酒田 孝
購読料一部20円は組合費
の中を含む

今月の紙面
1面：障害者在職状況調査、見直し
2面：『虎の穴』15年目の開幕
* HPへはこちらから→ 
* 当面、高教組新聞は2
面建てで発行します。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://aokokyoso.g2.xrea.com/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

障害者在職状況調査 方法の大幅見直し！

障害者雇用率水増し、高教組の要求をうけて

青森県教育委員会は、5月19日、「障害者在職状況調査への協力について(お願い)」を、
発出しました。この調査は、県教育委員会において、障害者の在職状況を正確に把握するた
めに、毎年行うものですが、今年度から、障害者の方のみが申告するよう調査方法を見直し
ました。これは、高教組が2年にわたって要求してきたことの成果です。

調査方法の課題と「障害者雇 用水増し問題」

「障害者在職状況調査」はこれ
まで、すべての教職員に対して、
紙ベース(目隠しシールで記入部
分を隠したもの)での提出を求め
ていました。「協力」という名目
でありながら、実際には全員の提
出を求めるもので、提出の必要性
や方法について疑問の声が上がっ
ていました。特に障害を持つて働
いている教職員から、疑問の声が
上がっていました。その声が上が
った直後、県教委での「障害者
雇用率水増し問題」が発覚しまし
た。高教組はこの事態を受けて、
2018年8月30日に、「国と自
治体による障害者雇用の「水増し」
に強く抗議します」と、声明を発
表しました。声明では大きく次の
3点を訴えました。

1 障害者雇用促進法に基づき、
最低限の障害者雇用率を早急に達

成すること。

2 障害の有無を自己申告
させる一斉調査を取りや
め、法定雇用の算入につい
ては国のガイドラインに
沿って適切に対応するこ
と。

3 教職員や事務職員に
障害がある場合、プライバ
シーに十分に配慮した上
で、必要な「合理的配慮」
を本人と話し合い、実施す
ること。

その後、教育長懇談、統
一要求書交渉、春闘要求書
交渉などでも、調査方法の
改善と、障害者雇用の促進
を強く求めてきました。

調査方法の改善が実現し ました！

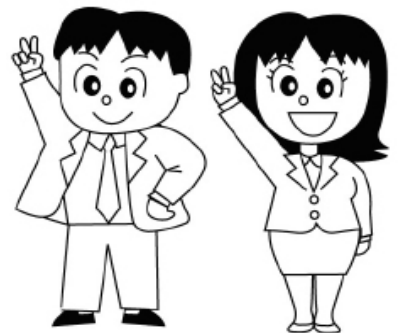
そして、今年度、調査方
法が大幅に見直されたの
です。

改善点は、

- ①対象を障害者の方のみと
する
- ②紙ベースではなく「電子
申請・届出システム」で申
告する
- ③情報確認のため障害者手
帳の写しを活用する、
- ④障害の状態の確認のた
め、毎年度申告する
- ⑤「ワークエンゲージメン
ト(仕事に向けられた持続
的かつ全般的な感情と認
知)」も調査する

としています。プライバシー
への配慮、一般の教職
員の負担軽減にもつな
がるような改善です。また、
2020年4月1日から
5年の期間で「青森県教育
委員会障害者活躍推進計
画」を策定し、障害者雇用
と定着をより進めていく
方向を示しています。

要求実現に向けて、高教 組の輪に加わろう！



調査方法の変更や推進計
画の策定といった動きに
ついて、高教組の要求の実
現であると評価しますが、
障害を持つて働く方への
「合理的配慮」について記
述が足りないと考えます。
「合理的配慮」は障害を持
つ本人からの申出と話し
合いが必要ですが、本人の
意向に沿って「合理的配
慮」を提供すると、明言し
てほしいものです。

さらに、障害を持つて働
く人も含めて、すべての教
職員が働きやすい職場に
することが求められます。
皆さんの声を要求として
伝えることで、改善される
のです。よりよい職場づく
りのため、皆さんもぜひ、
高教組の輪に加わって
ください。

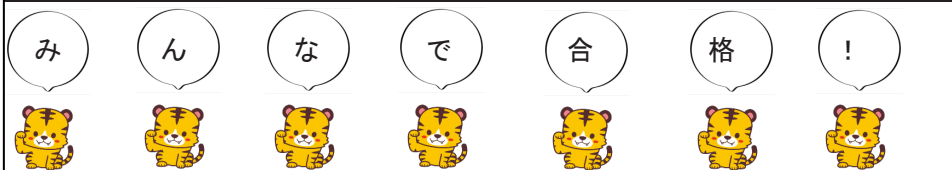
坂道の風

「世の中にたえ
て桜のなかりせば
春の心はのどけか
らまし」今年も静
かな桜の下で複雑
な気持ちで高校時
代に学んだこの歌
を思い出した。例
年になく少雪の
穏やかな冬だった
が、春は私たちに大きな試
練を与えた▼卒業式では、
4月の始業式、在校生と新
一年生との対面式は体育館
で行われず放送で。一週間
ほどは平常に戻ったが、突
然の全国一斉休校宣言で、
ゴールデンウィークは部活
動なし。高校総体、甲子園
もなくなった。青森では5
月7日から授業を再開した
が、全国は休校のまま。オ
ンライン授業の構築で疲れ
果てた先生の姿が痛々し
い。夏休みを削り、土曜日
も授業。わずかに数ヶ月で
学力は落ちるのか▼世の中
の不条理、矛盾を解決でき
ないでいる私たち大人。コ
ロナよりも、人間が恐ろし
いことに気づく。人間の活
動が無くなると川が綺麗に
なり、空気が澄み山の景色
が遠くまで見える。教育改
革が進む中、真の学びを語
り合いたい。(丑老兵)

2020年度 虎の穴 暫定日程表 *会場:青森県教育会館(青森市)

2020.5.21時点での暫定です。
 コロナ関連の動向により、随時変更あります。高教組にご確認ください。
 本年度は基本的に、二日日程では開催しない見込みです。

6月20日	(土)	14:00-18:00	虎の穴 I (集団討論、小全科 等)
7月11日	(土)	10:00-18:00	午前:オープン模試(教職、一般教養) *未組合員参加可 午後:虎の穴 II (集団討論 等)
7月18日 7月19日	(土) (日)		採用試験一次
以降二次対策など未定			



「臨時」という概念はあつてはならないと考えます。高教組は「教育に臨時はない」というスローガンのもと、これまで教諭と同じ職責を果たして頑張っている臨時講師のみなさんを応援するために様々な待遇改善を県に要求し、実現させてきました。特に今年4月には大幅な待遇改善を実現させることができましたのです。

採用試験本番までの期間を考え、1次試験の肝である「集団討論」の演習を中心に行います。また、2次試験対策もできる限り行いたいと考えています。ただ単に合格することだけを目的としているわけではなく、「ともに学び、ともに合格」を合言葉に、お互いに励まし合い、磨き合う学習会をめざしています。

2020年度、組合員限定教員採用試験対策講座『虎の穴』は15年目に入ります。これまで百数十名が卒業し青森県内にとどまらず、全国各地で活躍しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまででは集まることの講座を再開すること

を「記入の通信添削のみで行ってききましたが、緊急事態宣言解除の流れを受けて、講座を再開することになりました。日程等は別表をご覧ください。

青森県内に働く臨時講師のみなさん、高教組に入って自らの待遇改善を前進させることに力を貸してください。そして、ともに学び、よき教師と教員採用試験の合格をめざしていきましょう。

『虎の穴』、15年目の開幕！

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応について(お知らせ)

日頃、本会事業につきましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 2020年度に実施予定の下記事業について、機関紙等で**中止**のお知らせをしておりましたが、第50回青森県教職員美術展覧会についても、新型コロナウイルスの感染拡大防止、そして鑑賞者の健康と安全を第一に考え、**今年度は実施しない**こととしました。
 なお、今年度実施しない下記事業に関しては、来年度へ延期とさせていただきますので、来年度ぜひご参加ください。
 なお、その他文化事業等につきましても、今後の状況により中止となる場合がございます。その場合、本会ホームページ等にてお知らせいたしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

実施日	行事名
6月12日(金)	文化教室 「ベビーサインで親子のふれ愛&ママさん同士の育児トーク」
6月27日(土) 7月4日(土)	日帰り研修旅行 「西海岸・十二湖の森と深浦マグステ井を味わう一日」
7月12日(日) 7月26日(日) 8月30日(日)	教育と子どものセミナー 「Q&A 危機管理専門家が語るリスク対策 ~子どもと家族のいのちを守るために~」
7月23日(木) ※海の日	アウトドア体験 「大空に飛び立て! パラグライダー体験 in 大鰐」
8月1日(土)	第51回青森県教職員囲碁・将棋大会
9月5日(土)	第24回青森県教職員ゴルフ大会
10月8日(木) ~10月11日(日)	第50回青森県教職員美術展覧会及び第50回展特別企画



<お問い合わせ>
 青森県教育厚生会 総務課
 TEL 017-721-1310

青森県内に働く臨時講師のみなさん、高教組に入って自らの待遇改善を前進させることに力を貸してください。そして、ともに学び、よき教師と教員採用試験の合格をめざしていきましょう。

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

WEBでかんたん
見積依頼

月々わずか **600円** 全教共済

退職時には
掛金が全額戻ります!

総合共済

結婚・出産などの人生の
節目にお祝い給付

毎月加入できます